



会員の皆様へ

特定非営利活動法人全日本車いすダンスネットワーク
会長 奈良 光雄

2016年に発足した全日本車いすダンスネットワークは、2019年8月に特定非営利活動法人(NPO法人)に認定され、「特定非営利活動法人 全日本車いすダンスネットワーク」となりました。

車いすダンスは1990年代から日本にも広まり、1998年の長野パラリンピック開会式の出場、全日本選手権、世界大会など数々の場で多くの障がいのある人となない人が共に手を取り合って活躍してきました。しかし、ここ10年ほど、多様な車いすダンスの在り方と個々のニーズの広がりによって、既存の在り方にマッチングできないダンサーたちは、自身に適した活躍の場を見つけられないこともあり、車いすダンス人口は減少傾向にありました。

そのような流れの中で

- ① 車いすダンスをもっと身近で誰でも気軽に楽しく参加できるものにする。
- ② 地方に根差した活動を皆で支え合い、日本中どこにいても、車いすダンスを楽しめる文化を誰もが享受できるようにすること。

これらを活動の軸として新しい団体を発足しました。

あれから3年の月日が経ちましたが、今回特定非営利活動法人を取得できたことは、私たちの大きな一歩となりました。多くの仲間たちとの連携・協力とご理解ある皆様のお力添えに改めて感謝申し上げます。

現在は20都道府県で122名の会員が活躍しています。私たちは障がいのある人となない人が共に楽しめる車いすダンスというスタイルを大切にしながらも、車いすダンスの多様な在り方を模索し、その可能性を広げ、車いすダンスが文化として日本に根付いていくことを願っています。

今現在、コロナウイルスの件につきまして政府が発表されております状況に応じて、ネットワークの皆様には、お体に気を付けて頂くと共に、うつらない うつさないを基本に行動してください。

会員の皆様には、今後ともご協力とご支援を宜しくお願い申し上げます。



特定非営利活動法人 (NPO法人) になりました！！



(2019年5月26日 NPO法人設立総会にて)

かわさきパラムーブメントで踊りました！

2019年8月25日

場所:ラゾーナ川崎 プラザルーファ広場



【出演人数12名(うちネットワーク会員10名)】

杉本 彩、奈佐 誠司、古田 博子、玉澤 郁美、皆川 大樹、廣野 かよ子、飯野 幸江、関川 友子、斎藤 美奈子、水口 理佳子

バルカーカップで「情熱大陸」おどりました♪

8人が息を合わせて臨んだバルカーカップのフォーメーションダンス。演技直前に私は緊張で手に汗がにじんでいるのが分かりました。しかし演技が始まると夢中で踊っており、満足の気持ちでいっぱいでした。素晴らしい経験をする事ができました。



ウィルチェアダンス研究会・クアルト所属 溝口 之絵



溝口 之絵・佃 由美
木内 千鶴・小田切 元治
皆川 大樹・古田 博子
千葉 沙智子・三反田 美保子

ビバーチェフェスティバル2019

2019年9月1日、名古屋市障害者スポーツセンターにて「ビバーチェフェスティバル2019」を開催しました。私たちのダンスを様々な方に見ていただく毎年恒例のイベントで、フォーメーションダンス、ペアダンスやソロダンス、そしてメンバー全員によるダンスなど、今年も盛りだくさんのダンスで会場を盛り上げました。

さらにイベントのラストには、ご来場いただいたお客様とともに、アップテンポな曲によるダンスで会場の一体感は最高潮に！

今年も楽しい思い出をお客様と作る事ができました。

車いすダンス名古屋ビバーチェ 代表 豊田 優



第8回塩尻桔梗ライオンズクラブ杯争奪

長野県 滝沢 陽子

車いすダンススポーツライオンズカップが2019年11月24日に長野県塩尻市の吉田西防災センターアリーナで行われました。

この競技会は、障がい者・健常者の垣根なく取り組める競技スポーツとして、生きる喜びや楽しさ、社会的な人間関係を構築してくれるスポーツとして世界的に取り組まれていることを普及させるために、ダンススポーツ愛好者が一堂に会し塩尻桔梗ライオンズクラブの方々が全面的にバックアップし開催して頂いているとのことです。(パンフレットより)

今回は塩尻桔梗ライオンズクラブ結成40周年という記念の年でもあり、盛大に行って頂きました。車いすダンスの競技以外に、一般の社交ダンスの競技や子供たちのダンス、そして、一般の方にも車いすダンスを体験して頂ける時間を作っていました。

当日は残念ながら、色々な競技会などと重なったこともあり、エントリーの人数が少なく、前年度よりさみしい状況になってしまいましたが、県外から参加いただいた皆さんにも大いに盛り上げていただき、楽しく踊れたと思います。

開催される前に塩尻市長訪問をライオンズクラブの皆様と、長野県から出場する車いすドライバーの3人とスタンディング1人とでさせていただきます。そして、始めたきっかけや、始めたことで得られたことなどを含め、車いすダンスの魅力をお伝えさせていただく機会も作っていただけたことも、いい体験となりました。



アマ・プロダンスフェスティバル&車いすダンス競技会

第17回長野県アマ・プロダンスフェスティバル&車いすダンス競技会が8月18日(日)上田創造館で開催されました。

J BDF長野県ダンス連盟主催のアマ・プロ戦の中に車いすダンス競技会が組み込まれ、ゲスト審査員の単独審査という特色ある競技会です。W・T・R・Cの単科戦でしたが車いすダンスのイベントが重なり、他県の参加者は木内さんだけでしたが、会場の声援を受け楽しく踊ることができました。審査の講評で最近の車いすダンスのレベルの高さをお褒めいただき、車いすダンスの存在感が増した事を実感した大会でした。

長野県 小泉 美智子



長崎県障害者芸術祭で踊りました♪

出演人数：6名（うちネットワーク会員4名）

★古田博子、三反田美保子、安部都、田原千秋★



お知らせ (今後の活動予定 ★ネットワークの活動 ○地域活動等)

- ★WDN理事会 (4/26)・・・【中止】
- ★WDN懇親会 (5/16)・・・【延期】(開催時期未定)
- ★WDN総会・講習会 (5/17)・・・【中止】(講習会は延期予定)
- 関東甲信越茨城大会 (5/23)・・・【中止】
- 水戸市長杯全国車いすダンス競技大会 (6/21)・・・【延期】(開催時期未定)
- 長野県アマ・プロダンスフェスティバル (8月30日)
- 名古屋ビバーチェフェスティバル (9月20日)

次号の予定【第2号 (Vol 2-1)】(令和2年8月15日発行予定)
活動報告／サークル等紹介／今後の活動予定／その他

♪ 表題のお話 ♪

会報誌の表題を考えてみようと思いに言葉を「心繫-ココツナ-」「心踊こころおど」などが浮かびましたがイマイチで何か他にないかなあと悩み続けていたら「輪」の字が入ると良いとの意見をいただき、さらに数ヶ月が経ったある日・・・

輪踊 (ロンド?) →車輪踊 (シャロンド?) → (サロン・ド・ショコラ?的な響き?) → 車輪踊通信にたどり着き、この場合は「踊」より「舞」の字を使いたいと思い「車輪舞通信～シャロン・ド・ツウシン～」となりました。この日は何故か突然に20分くらいで一気に表題っぽくなりました。

「車輪で舞う」と、そのままな感じですが、「皆の心を繋ぎ、笑顔で楽しくダンスを」という想いが詰まっています。(千葉 沙智子)

《編集後記》

長らくお待たせしました。設立4年目(NPO法人取得1年目)にして、やっと会報誌を発行することができました。

創刊号の作成にご協力いただいた皆様に心から感謝します。そして今回掲載できなかったものは次回になりますことご了承ください。

創刊号記念として設立からの3年間で写真を振り返ってみました。

今後の発行は不定期となりますが、これからも温かく見守っていただくと嬉しいです。また次号に向けて内容を検討して原稿の募集等をさせていただきますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

